

事業NO.	701	事業名	経年管(配水管)取り替えによる耐震性の向上①	《重点管理事業》	水道部
-------	-----	-----	------------------------	----------	-----

評価対象事業名	経年管(配水管)取り替えによる耐震性の向上			部課名	水道部工務課					
基本計画掲載	あり	○	なし	係名	工務係	内線	3436			
計画事業名	経年管(配水管)取り替えによる耐震性の向上			歳出科目	款	1.受託水道事業費	項	1.水道管理費	目	2.配水費
関連計画	水道法・東京都水道条例・同条例施行規則			受託水道事業特別会計	事項	3.配水事業費				
				補助区分	国	都	○	市単独		

**事業の目的・概要** 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

現在、飲料水を配水する配水管の一部に強度の劣る普通鋳鉄製配水管が布設されており、震災時においても安定した給水を確保するため、より強度の高いダクタイル鋳鉄製配水管に管種変更を進める。

**概要** 平成17年度当初における配水管の全体延長は、319,200mである。これに対して、耐震強度の劣る昭和47年以前に布設された普通鋳鉄製配水管は、約31,930mが存在している。この普通鋳鉄製配水管をより強度の高いダクタイル鋳鉄製配水管に布設替える。

始期 17 年度から 終期 23 年度まで 当該事務に従事する実職員数 2.0 人 または 時間

**今年度の改善・改革ポイント(前年度の評価結果等を踏まえて、継続事業の場合記入)**

事業の進捗については、道路管理者・交通管理者及び他企業とも速やかに協議し事業を実施する。  
また、昨年度予定していた多摩水道改革推進本部直轄工事の配水小管(経年管)1,882mのうち、本年度は1,009mを布設替える予定であり、市実施工事と合わせた残存率は、4.9%となる見込みである。

**今年度の活動指標(事業・活動の内容・量の指標)の説明**

計画延長3,800m

**今年度のまちづくり指標(成果の指標)の説明**

計画事業を100%実施し、経年管の残存率を4.9%(都施工分1,009mを含む)とする。

**他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値(コスト比較を含む)**

年度別明細	H18年度	H19年度	H20年度目標	H20年度達成
活動指標 (事業・活動の内容・量)	実施延長 3,899m	実施延長 2,798.3m	計画延長 3,800m	実施延長 3,658.3m
まちづくり 指標(成果 指標) ①行政指標 ②協働指標	①残存率7.4%	①残存率6.1%	①残存率4.9%	①残存率4.6% (都施工分1,009mを含む)
予算額(千円)	438,510	329,330	552,258	570,258
決算額(千円)	436,495	328,648		570,258
執行率(%)	99.5%	99.8%		100.0%

**年間の実施スケジュール**

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画					設計・施工時期							
									設計等次年度準備期間			
結果					設計・施工時期							
									設計等次年度準備期間			

当初計画変更の内容・理由等(当初計画どおり実施した場合は、その旨を記載)  
概ね当初計画通り実施。

事業NO.	701	事業名	経年管(配水管)取り替えによる耐震性の向上②	《重点管理事業》Ⅱ	水道部
-------	-----	-----	------------------------	-----------	-----

### 《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善・改革方向	
経年管(配水管)については、三鷹市でも幹線道路に埋設されていることが多く、道路の拡幅や多摩水道改革推進本部の配水本管布設予定の変更により計画どおり進めることが難しい。次年度についても、関係機関とできるだけ早くからの調整を図り事業執行を進めていく。	
主管課中間評価(今年度で事業が終了する場合は記入不要)	
コスト面	3 来年度は本年度よりコストが、1 減少する・2 維持・3 増加する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由) 工事延長は減となるが幹線道路の工事が多いため、コスト面は増加となる。
成果面	3 来年度は本年度より成果が、1 増加・2 維持・3 減少する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由) 経年管の布設替えについては、残存箇所の減少とともに延長も少なくなるが、今後、経年管布設替えと合わせて初期ダクタイル鋳鉄管の布設替えを実施(平成21年度は500m程度)する予定となっている。
中 間 評 価	今後の委託・協働等(民間・嘱託臨職・市民による一部実施を含む)の可能性について 3 1ある・2ない・3その他 (理由及び具体的内容) 設計については、委託済である。なお、今後の課題として監督業務委託について多摩水道改革推進本部と協議をしていきたい。
評 価	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価(又は平成20年度の取り組みに対する意見) 評価 1 1 妥当である・2 改善の余地あり・3 抜本的な見直し必要 (特記意見)
	改善提案に対する政策会議の意見・評価(又は平成20年度の取り組みに対する意見) 重点的に取り組む課題とする。

### 《事業の事後評価》

事 後 評 価	進捗状況評価(当初計画に対して)	1 1 当初計画通り(計画以上の進捗を含む)・2 若干遅れた・3 大きく遅れた
	成果に対する評価(活動指標・まちづくり指標に対して)	1 1 大(目標の指標等を達成)・2 中・3 小又はなし
	効率性(事業の効率的実施)・経済性(予算のコスト削減等)に対する評価	2 1 高(特別の成果あり)・2 中・3 低
主管課 事後 評価	総合評価(進捗状況、成果、効率性・経済性の評価を踏まえて)及び次年度の実施方針 他工事との調整等により、当初予定の3,800mに対し3,658.3mと延長は減少したものの、東京都水道局との連携により東京都直轄工事で1,009mを施工し、あわせて4,667.3mの解消を図ることができた。	
審査会 評価	進捗状況評価 1 成果に対する評価 1 効率性・経済性に対する評価 2 (特記意見)	

事業NO. 702	事業名	深井戸の適正な維持管理①	《重点管理事業》	水道部
-----------	-----	--------------	----------	-----

評価対象事業名	深井戸の適正な維持管理				部課名	水道部 工務課			
基本計画掲載	あり	○	なし	体系	第4部 第3-1・1-(1)-②	係名	工務係	内線	3436
計画事業名	深井戸の適正な維持管理				受託水道事業特別会計	事項	3.浄水事業費 1.原浄水施設事業費	1.水道管理費 2.建設改良	1.浄水費 1.原浄水施設費
関連計画					補助区分	国	都	○	市単独

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的 三鷹市の水道水の約6割に当たる自己水源である深井戸の安定揚水量を維持するため、市内34か所の水源井内の活性化を図るとともに、各々水源井の適正揚水量を確認し、水中ポンプ取り替えによる地下水を主とする水道水の安定供給を行う。

概要 さく井後35年から50年が経過し、劣化した井内スクリーン(集水口)のサビ等による目詰まりを解消するため、各々井戸の現状に即した工法(ブラッシング、スワビング、バックウッシング等)による更生工事で揚水水位の回復を図り、それぞれの水源井の適正揚水量を確認しながら水中モータポンプを選定し、順次取り替えを行う。

始期 年度から 終期 20 年度まで 当該事務に従事する実職員数 1.0人 または 時間

今年度の改善・改革ポイント(前年度の評価結果等を踏まえて。継続事業の場合記入)

水源井34か所の水中モータポンプ取り替え周期と全水源から選出された更生工事周期及び新たに回復が期待できそうな水源井を勘案しながら、効率的かつ効果的な工事の実施を図る。

今年度の活動指標(事業・活動の内容・量の指標)の説明

- (1) ブラッシング、スワビング等による井内の更生2か所
- (2) 更生工事に合わせた水中モータポンプ取り替え1か所

今年度のまちづくり指標(成果の指標)の説明

自己水源水と都補給水との現状割合(おおむね6割対4割)を維持するため更生工事により揚水水位を回復し、水中モータポンプ取り替えによる安定揚水を図る。

他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値 (コスト比較を含む)

年度別明細	H18年度	H19年度	H20年度目標	H20年度達成
活動指標 (事業・活動の内容・量)	実施水源 野崎1号水源、三鷹新川5号水源、三鷹中原1、13号水源	実施水源 三鷹中原2号水源	計画水源 井の頭水源、三鷹北野7号水源	実施水源 井の頭水源、三鷹北野7号水源、北野5号水源
まちづくり指標(成果指標) ①行政指標 ②協働指標			①計画水源井2か所の揚水量維持	①計画水源井2か所の揚水量維持
予算額(千円)	31,332	12,831	26,213	26,213
決算額(千円)	24,885	11,487		23,150
執行率(%)	79.4%	89.5%		88.3%

年間の実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画			三鷹北野7号水源更生工事				井の頭水源更生工事			井の頭水源水中ポンプ設置工事		
結果			三鷹北野7号水源更生工事				井の頭水源更生工事			井の頭水源水中ポンプ設置工事		
	北野5号水源水中ポンプ取り替え			北野5号水源水中ポンプ設置工事			井の頭水源水中ポンプ設置工事					

当初計画変更の内容・理由等(当初計画どおり実施した場合は、その旨を記載)

平成20年3月に北野5号水源の水中ポンプが故障し、揚水不能となったため優先的に設計、施工を実施した。

事業NO. 702	事業名	深井戸の適正な維持管理②	《重点管理事業》Ⅱ	水道部
-----------	-----	--------------	-----------	-----

### 《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善・改革方向	
現在、1か所目の更生工事を施工しているが、順調に浚渫、目詰まり除去等の更正工事が進み、水位回復による安定揚水が期待できる。	
主管課中間評価(今年度で事業が終了する場合は記入不要)	
コスト面	<input type="checkbox"/> 来年度は本年度よりコストが、1 減少する・2 維持・3 増加する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由)
成果面	<input type="checkbox"/> 来年度は本年度より成果が、1 増加・2 維持・3 減少する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由)
中間評価	今後の委託・協働等(民間・嘱託臨職・市民による一部実施を含む)の可能性について <input type="checkbox"/> 1 ある・2 ない・3 その他 (理由及び具体的内容)
改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価(又は平成20年度の取り組みに対する意見)	評価 <input type="checkbox"/> 1 妥当である・2 改善の余地あり・3 抜本的な見直し必要 (特記意見)
改善提案に対する政策会議の意見・評価(又は平成20年度の取り組みに対する意見)	

### 《事業の事後評価》

事後評価	進捗状況評価(当初計画に対して)	<input type="checkbox"/> 1 1 当初計画通り(計画以上の進捗を含む)・2 若干遅れた・3 大きく遅れた
	成果に対する評価(活動指標・まちづくり指標に対して)	<input type="checkbox"/> 1 1 大(目標の指標等を達成)・2 中・3 小又はなし
	効率性(事業の効率的実施)・経済性(予算のコスト削減等)に対する評価	<input type="checkbox"/> 2 1 高(特別の成果あり)・2 中・3 低
	総合評価(進捗状況、成果、効率性・経済性の評価を踏まえて)及び次年度の実施方針	
	平成19年度末に北野5水源の水中ポンプが故障したため、優先的に取り替え工事を行ったが、当初計画の1か所と合わせ、計2か所の工事を完了することができた。 更生工事により、井戸スクリーンの目詰まりが解消したことで揚水水位が回復し、水中ポンプを取り替えたことで一定の揚水量の確保も可能となった。 平成21年度からは、浄水場に係る業務はすべて東京都水道局で行うこととなるが、引き続き水源井の更生工事及び水中ポンプの取り替え工事、そして、掘り替えによる統合を進め、三鷹市における深井戸の適正な維持管理を要望していく。	
審査会評価	進捗状況評価 <input type="checkbox"/> 1 成果に対する評価 <input type="checkbox"/> 1 効率性・経済性に対する評価 <input type="checkbox"/> 2 (特記意見) 三鷹市の水源確保のため、今後も適正な維持管理を要望することが有効と思われる。	

事業NO.	703	事業名	配水管の新設による配水管網の整備①	〈部内管理事業〉	水道部
-------	-----	-----	-------------------	----------	-----

評価対象事業名	配水管の新設による配水管網の整備			部課名	水道部工務課					
基本計画掲載	あり	○	なし	係名	工務係	内線	3436			
計画事業名	配水管網の整備			歳出科目	款	1.受託水道事業費	項	2.建設改良費	目	2.配水施設費
関連計画	水道法・東京都給水条例・同条例施行規則			受託水道事業特別会計	事項	2.配水施設事業費				
補助区分	国			都	○	市単独				

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的 配水管の新設工事を実施することにより、より効率的な配水管網の整備を図る。

概要 経年管布設替工事やその他の水道工事に合わせ、隣接した公道や私道に配水管を布設しループ化を進める。また、都市計画事業等の推挙に合わせ、配水管の新設工事を実施する。

始期 単年度 年度から 終期 年度まで 当該事務に従事する実職員数 3.0人 または 時間

今年度の改善・改革ポイント(前年度の評価結果等を踏まえて。継続事業の場合記入) 前年度に引き続き、事業の効率化と市民サービスの向上に向け、配水管網の整備を進める。

今年度の活動指標(事業・活動の内容・量の指標)の説明 計画延長を4,350mとする。

今年度のまちづくり指標(成果の指標)の説明 より効率的な配水管網の整備で年間計画100%を目指し、市民サービスの向上を図る。

他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値 (コスト比較を含む)

年度別明細	H18年度	H19年度	H20年度目標	H20年度達成
活動指標(事業・活動の内容・量)	実施延長 2,334.2m	実施延長 4,996.8m	計画延長 4,350m	実施延長 4,680.1m
まちづくり指標(成果指標)	①より効率的な配水管網の整備が図られた。	①より効率的な配水管網の整備が図られた。	①年度計画の100%実施	①より効率的な配水管網の整備が図られた。
①行政指標				
②協働指標				
予算額(千円)	128,240	359,872	406,465	405,480
決算額(千円)	126,455	350,296		384,618
執行率(%)	98.6%	97.3%		94.9%

年間の実施スケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画	設計・施工時期												
	設計等次年度準備期間												
結果	設計・施工時期												
	設計等次年度準備期間												

当初計画変更の内容・理由等(当初計画どおり実施した場合は、その旨を記載) 概ね当初計画通り。

事業NO.	703	事業名	配水管の新設による配水管網の整備②	〈部内管理事業〉Ⅱ	水道部
-------	-----	-----	-------------------	-----------	-----

### 《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善・改革方向	
経年管等の布設替工事と連動して効率よく実施していくが、配水管のループ化を早期に実施するため、配水管未布設路線の整備を道路管理者や私道の地権者と早めに協議し、実施していく。	
主管課中間評価(今年度で事業が終了する場合は記入不要)	
コスト面	3 来年度は本年度よりコストが、1減少する・2維持・3増加する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由) 工事延長等については減少するものの都道等の幹線が多くなるためコスト増となるが、全体的に私道の工事も多くなるため、全体では若干単価が増となる見込みである。
成果面	3 来年度は本年度より成果が、1増加・2維持・3減少する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由) 経年管の事業量の低下に伴い、配水管の新設事業についても減となる。
中間評価	今後の委託・協働等(民間・嘱託臨職・市民による一部実施を含む)の可能性について 3 1ある・2ない・3その他 (理由及び具体的内容) 設計については、委託済である。なお、今後の課題として監督業務委託について、多摩水道改革推進本部と協議をしていきたい。
評価	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価(又は平成20年度の取り組みに対する意見) 評価 1 1 妥当である・2 改善の余地あり・3 抜本的な見直し必要 (特記意見)
	改善提案に対する政策会議の意見・評価(又は平成20年度の取り組みに対する意見) 評価を踏まえ予算化に努める。 工法・工期など創意工夫をもって検討し、取り組みを進めること。

### 《事業の事後評価》

事後評価	進捗状況評価(当初計画に対して)	1 1 当初計画通り(計画以上の進捗を含む)・2 若干遅れた・3 大きく遅れた
	成果に対する評価(活動指標・まちづくり指標に対して)	1 1 大(目標の指標等を達成)・2 中・3 小又はなし
	効率性(事業の効率的実施)・経済性(予算のコスト削減等)に対する評価	2 1 高(特別の成果あり)・2 中・3 低
主管課評価	総合評価(進捗状況、成果、効率性・経済性の評価を踏まえて)及び次年度の実施方針 配水管の新設は、経年管や導水管の布設替工事及び道路工事に付随して工事を実施しており、経年管布設替え箇所の変更などにより施工路線を変更したことで、当初予定を上回った延長を施工することができた。経年管布設替工事の工期延長や私道承諾の遅れにより若干工期が延長となったものの、順調に工事を進めることができ、給水管の整理や配水管のループ化により、効率的な管網整備をすることができた。 次年度についても、道路管理者や関係機関と十分な調整を図り、計画的・効率的な事業を実施していく。	
審査会評価	進捗状況評価 1 成果に対する評価 1 効率性・経済性に対する評価 2 (特記意見)	

事業NO.	704	事業名	大口径給水管の取り替えによる耐震性の向上①	〈部内管理事業〉	水道部
-------	-----	-----	-----------------------	----------	-----

評価対象事業名	大口径給水管の取り替えによる耐震性の向上			部課名	水道部工務課					
基本計画掲載	あり	○	なし	体系	第4部 第3-1・3-(1)-③	係名	給水係			
計画事業名	大口径給水管の取り替えによる耐震性の向上			歳出科目	款	1.受託水道事業費	項	1.水道管理費	目	3.給水費
関連計画				受託水道事業特別会計	事項	3給水事業費				
				補助区分	国	都	○	市	単独	

**事業の目的・概要** 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

**目的** 配水管と給水管の一体的な耐震化を図り、管路全体の耐震性を向上させる。

**概要** 配水小管から宅地内第一仕切弁までの口径75mm以上の給水管の中で、耐震強度の劣る普通鑄鉄管などをより強度の高いダクタイル鑄鉄管に布設替える。なお、本事業とともに経年管(配水管)取り替えによる耐震性の向上においても、大口径給水管の布設替えを進め、平成23年度までに残存率0%を目指す。

始期 19 年度から 終期 23 年度まで 当該事務に従事する実職員数 1.0 人 または 時間

**今年度の改善・改革ポイント(前年度の評価結果等を踏まえて、継続事業の場合記入)**  
前年度に引き続き、施工箇所における他工事や水道使用者の状況などを勘案し、工事を進める。

**今年度の活動指標(事業・活動の内容・量の指標)の説明**  
8か所の大口径給水管の耐震化を図る。

**今年度のまちづくり指標(成果の指標)の説明**  
経年管(配水管)の取り替え予定個所及び他工事との調整を行い、年度計画の100%実施を目指す。

**他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値 (コスト比較を含む)**

年度別明細	H18年度	H19年度	H20年度目標	H20年度達成
活動指標 (事業・活動の内容・量)		6か所の耐震化	8か所の耐震化	7か所の耐震化
まちづくり 指標(成果 指標)		①年度計画の 160%実施	①年度計画の100%実施	①年度計画の88%実施
①行政指標 ②協働指標				
予算額(千円)		12,819	12,900	14,724
決算額(千円)		12,548		14,680
執行率(%)		97.9%		99.7%

年間の実施スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画	大口径給水管耐震化工事(その1)			大口径給水管耐震化工事(その2)								
結果	大口径給水管耐震化工事(その1)			大口径給水管耐震化工事(その2)								

当初計画変更の内容・理由等(当初計画どおり実施した場合は、その旨を記載)  
入札の結果、不調が続き、工事契約が遅延したため。

事業NO.	704	事業名	大口径給水管の取り替えによる耐震性の向上②	〈部内管理事業〉Ⅱ	水道部
-------	-----	-----	-----------------------	-----------	-----

## 《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善・改革方向	
都道を掘削する箇所があり、都工事の予定の変更により、計画どおり進めることが難しい。次年度についても、関係機関とできるだけ早くからの調整を図り、事業執行を進めていく。	
主管課中間評価(今年度で事業が終了する場合は記入不要)	
コスト面	3 来年度は本年度よりコストが、1減少する・2維持・3増加する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由) 都道の横断個所の施工を予定している(舗装構造が厚い)ため、増加する。
成果面	1 来年度は本年度より成果が、1増加・2維持・3減少する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由) 平成22年度以降は、経年管(配水管)取り替え工事で行う予定のため、本事業は平成21年度で終了する。
中間評価	今後の委託・協働等(民間・嘱託臨職・市民による一部実施を含む)の可能性について 3 1ある・2ない・3その他 (理由及び具体的内容) 設計については、委託済である。
改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価(又は平成20年度の取り組みに対する意見)	
評価	1 1 妥当である・2 改善の余地あり・3 抜本的な見直し必要 (特記意見)
改善提案に対する政策会議の意見・評価(又は平成20年度の取り組みに対する意見)	

## 《事業の事後評価》

事後評価	進捗状況評価(当初計画に対して)	2	1当初計画通り(計画以上の進捗を含む)・2若干遅れた・3大きく遅れた			
	成果に対する評価(活動指標・まちづくり指標に対して)	2	1大(目標の指標等を達成)・2中・3小又はなし			
	効率性(事業の効率的実施)・経済性(予算のコスト削減等)に対する評価	2	1高(特別の成果あり)・2中・3低			
	総合評価(進捗状況、成果、効率性・経済性の評価を踏まえて)及び次年度の実施方針					
	当初予定の8か所のうち、都道に面する井の頭公園への給水管については、入札不調及び他工事との調整から次年度へ見送ることとしたため、本年度は7か所の施工になった。次年度も、関連他工事との調整を密にし、効率よく見送り分を含めた2か所の耐震化を行う。本事業については、平成19年度以降、東京都において対象とする大口径給水管の見直しが行われ、現段階では、平成21年度をもって完了する予定である。 なお、平成19年度当初に予定していた計画34か所のうち、残る19か所については、経年配水管の布設替え工事にあわせ解消する予定である。					
審査会評価	進捗状況評価	2	成果に対する評価	2	効率性・経済性に対する評価	2
	(特記意見) 平成22年度からは経年管と大口径管の布設替工事をあわせて解消するため、次年度における効率的な計画の実施を行うことが望ましい。					